



天然アロマの

虫よけスプレー

洋服・ベビーカー・チャイルドシート
帽子・カーテン・カーペット等の布製品に

OEMのご提案

日本フィリン 株式会社（ダイゾーグループ）



nihon phyrin

天然アロマと化粧品原料のみ

ユーカリ
Eucalyptus

虫の嫌うと言われている **天然アロマ** と

桂皮
Cinnamon

化粧品原料 で出来た虫よけスプレーです。

シトロネラ
Citronella

数種類の天然アロマをブレンドして、

ティーツリー
Tea tree

持続時間は **約6時間** と長持ち！

アロマの
爽やかな
香り

※ 使用環境により効果は異なります

合成殺虫剤 と ディート不使用

一般的な虫よけは、ディートを使用しているものが多数。

本品は **ディート不使用** なのにしっかりと虫よけできます。

直接お肌につける虫よけ剤は **お子様のお肌への影響が心配** という

お母様が増えていきます。お子様に使用するなら、

安心・安全な製品を選びたいですね。

※本品は、ヒトスジシマカに対する虫よけ忌避試験にて効果実証済みです。

詳細は当紙の忌避試験報告書をご参照下さい。

ディートとは

虫などの忌避剤として使用される化学物質で、虫除けスプレーなどに使われています。蚊やダニなど吸血タイプの昆虫に対して高い効果があり、比較的安価なことから世界中で使用されている成分です。敏感肌の人には炎症が出ることもあるといわれ、お肌が弱い方は注意が必要です。年齢制限を設けており、6カ月未満の乳児は使用しない。2歳未満は1日1回まで。

2歳以上12歳未満は1日3回までとなっています。

ご使用について

お出かけ前に

フユツ!

気になる時に

フユツ!

外出先でも手軽に使えます。

用途

洋服・帽子・日傘・カーテン・カーペット等の布製品に
お出かけ先のあらゆるシーンで、活躍してくれます。

日本フイリン株式会社 御中

〒276-0029 千葉県八千代市村上南 2-6-15-302

害虫防除技術研究所



虫よけ剤のヒトスジシマカに対する

忌避試験報告書

IPCT *Institute of Pest Control Technology*

日本ファイリン株式会社の虫よけ剤について、蚊忌避試験を実施しましたので報告致します。

1. 試験年月日

2. 試験担当者及び報告者 害虫防除技術研究所（有限会社モストップ内） 白井良和

3. 試験検体 日本ファイリン株式会社 虫よけスプレーサンプル



図1 試験検体

4. 供試虫



ヒトスジシマカ (*Stegomyia albopicta*) メス成虫 (図2)

図2 ヒトスジシマカ

5. 試験目的 検体をヘアレスマウスに塗布し、蚊忌避効力があるかどうかを確認する。

6. 試験方法

検体（図1）の液体 0.5mL をピペットで取り、1頭のヘアレスマウスに少しずつ滴下しながら、ビニル袋をはめた手でマウスの身体全体にのぼして塗布した。他方のヘアレスマウス1頭は何も処理しない無処理区（対照）とした。ヒトスジシマカメス成虫 20 頭が入ったナイロンゴーズ袖付き透明アクリル製容器（300mm×300mm×300mm）を 2 個用意し、各ヘアレスマウスを金網に入れて固定してそれぞれの容器内に挿入し、30 秒ごとに 10 分間、検体を処理したマウスと、無処理のマウスに吸血飛来して降着した蚊数（マウスにとまった蚊の数）および 10 分間に吸血した蚊数を記録した（図3、4、5）。これを処理直後1反復で行った。試験は室温 25.0℃、66%RH 条件下で行った。



図3 試験風景



図4 無処理区のマウス

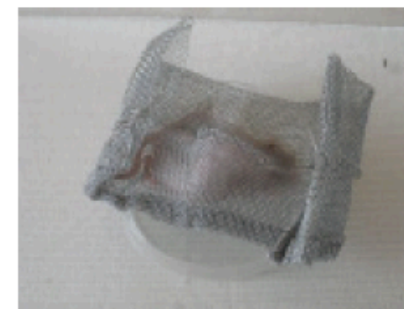


図5 検体を塗布したマウス

7. 結果

表1に、検体を処理したマウスへのヒトスジシマカ降着数（吸血飛来してマウスにとまった数）、吸血数、吸血率、忌避率を示した。検体処理区のもの降着数は10頭であって、無処理区の161頭より少なく、検体処理区の吸血数は1頭であって、無処理区の11頭より少なかった。

忌避率 (%) = $100 \times (\text{無処理区の吸血数} - \text{処理区の吸血数}) / \text{無処理区の吸血数}$ により算出した忌避率は90.9%となり、検体処理による蚊忌避効果がみられた。

表1 検体処理マウスおよび無処理マウスに対するヒトスジシマカ30秒ごと10分間の降着した蚊数（とまった蚊数）、10分間吸血数、吸血率（供試虫：ヒトスジシマカメス成虫20頭）

経過時間（秒）	検体	無処理区
30	0	3
60	0	9
90	0	10
120	0	9
150	0	10
180	0	10
210	0	9
240	0	9
270	1	9
300	1	9
330	1	9

経過時間 (秒)	検体	無処理区
360	1	9
390	1	8
420	2	8
450	1	7
480	1	7
510	1	7
540	0	7
570	0	6
600	0	6
のべ降着数	10	161
吸血数	1	11
吸血率 (%)*	5.0	55.0
忌避率 (%)**	90.9	-

* 吸血率 (%) = 100 × 吸血数 / 20

** 忌避率 (%) = 100 × (無処理区の吸血数 - 処理区の吸血数) / 無処理区の吸血数

8. 考察

本試験より、検体を処理したマウスが、無処理のマウスに比べて、降着数、吸血数が少なく、忌避率は 90.9% と高い値を示し、高い蚊忌避効力を有することが示された。

以上